

岡山県感染症週報 2020年第36週 (8月31日～9月6日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

9月24日～30日は「結核予防週間」です。



ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い!

© 岡山県「うらっち」

◆2020年 第36週 (8/31～9/6) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第35週	2類感染症	結核 1名 (30代 男)
	4類感染症	レジオネラ症 1名 (70代 男)
第36週	2類感染症	結核 7名 (20代 男 1名、60代 男 1名、70代 女 2名、80代 男 1名・女 1名、90代 女 1名)
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 5名 (O157: 幼児 男 2名、30代 男 1名・女 1名、O血清群不明: 幼児 女 1名)
	4類感染症	重症熱性血小板減少症候群 1名 (70代 男) レジオネラ症 1名 (60代 男)
	5類感染症	梅毒 2名 (10代 女 1名、40代 男 1名)
	指定感染症	新型コロナウイルス感染症 1名 (50代 男)

【第37週 速報】

○腸管出血性大腸菌感染症 1名 (O157: 幼児 女) の発生がありました (9月7日)。

1. [新型コロナウイルス感染症](#)は、第36週に1名の報告があり、2020年第36週までの累計報告数が146名となっています。全国や岡山県の発生状況など詳しくは「[今週の注目感染症①](#)」をご覧ください。
2. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、2020年第36週に5名の報告があり、2020年第36週までの累計報告数が60名となっています (2019年の同時期: 41名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症注意報発令中!](#)』をご覧ください。
3. [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\)](#) は、第36週に1名の報告があり、2020年第36週までの累計報告数が5名となっています (2019年の同時期: 2名)。また、[日本紅斑熱](#)は、2020年第36週までの累計報告数が7名となっています (2019年の同時期: 1名)。2006年の集計開始以降、両感染症ともに1年間の累計報告数が最多となりました (これまでSFTSは2019年の3名、日本紅斑熱は2017年の7名が最多)。SFTSおよび日本紅斑熱の全国や岡山県の発生状況など詳しくは「[今週の注目感染症②](#)」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	⬆	★
咽頭結膜熱	⬆	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬆	★
感染性胃腸炎	⬆	★	水痘	⬆	★
手足口病	➡	★	伝染性紅斑	➡	
突発性発疹	⬆	★★	ヘルパンギーナ	⬆	★★★
流行性耳下腺炎	⬆	★	急性出血性結膜炎	➡	
流行性角結膜炎	⬆	★	細菌性髄膜炎	➡	
無菌性髄膜炎	⬆	★	マイコプラズマ肺炎	➡	
クラミジア肺炎	➡		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	➡	

【記号の説明】 前週からの推移: ↑: 大幅な増加 (大幅: 前週比100%以上の増減) ➡: 増加 (増加・減少: 前週比10~100%未満の増減) ➡: ほぼ増減なし ⬆: 減少 ⬆: 大幅な減少

発生状況: 今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
空白: 発生なし ★: わずか ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

今週の注目感染症①

☆新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、現在世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。日本では、2020年1月15日に1例目の感染者が確認されました。一般的な感染経路は、飛沫感染・接触感染が考えられますが、閉鎖空間で近距離で多くの人と会話するなどの一定の環境下であれば、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています（WHOは、5分間の会話で1回の咳と同程度の飛沫（約3,000個）が飛ぶと報告しています）。

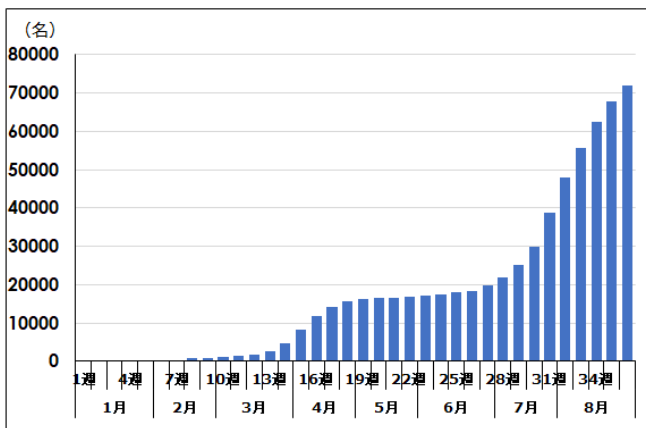
●症状

1～14日（通常5～6日）の潜伏期間の後に、主に発熱、咳、全身倦怠感等の風邪のような症状が出現しますが、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害などを呈する場合があります。国内の症例では、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強い倦怠感を訴える方が多いようです。高齢者や基礎疾患（糖尿病、心血管疾患、呼吸器疾患など）のある方がり患すると、重症化しやすいことが分かっており、注意が必要です。他方、感染しても息苦しさなどを認めない比較的軽症の例や無症状の方も多くみられます。

●発生状況

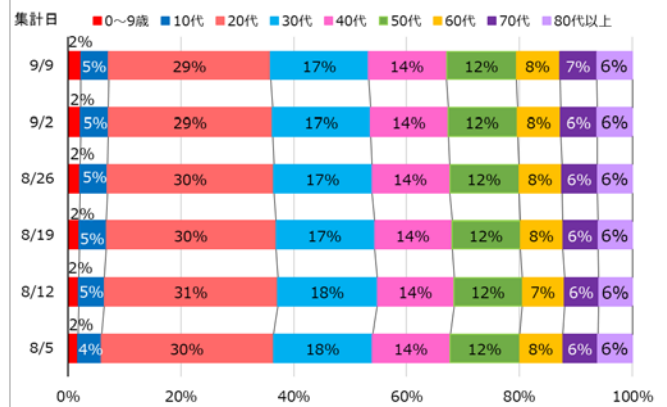
・全国

2020年9月10日0時現在までで、国内感染者は累計で73,221名、国内死亡者は1,406名、退院または療養解除となった者は64,835名となっています（厚生労働省ホームページより）。



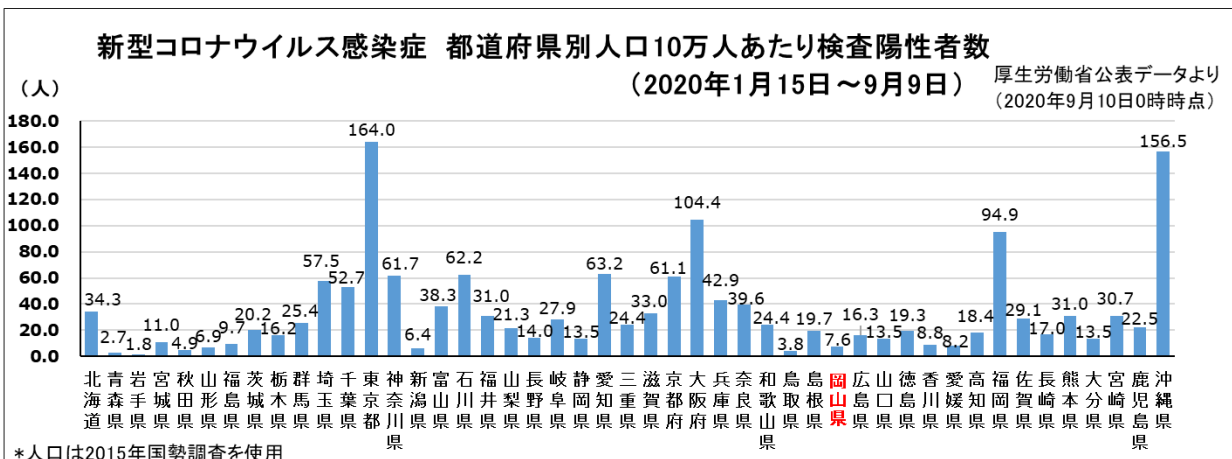
全国、週毎累計

厚生労働省ホームページより(2020年第1週～第36週)



全国、年齢階級別集計日毎累計割合

厚生労働省ホームページより(2020年8月5日～9月9日18時時点)

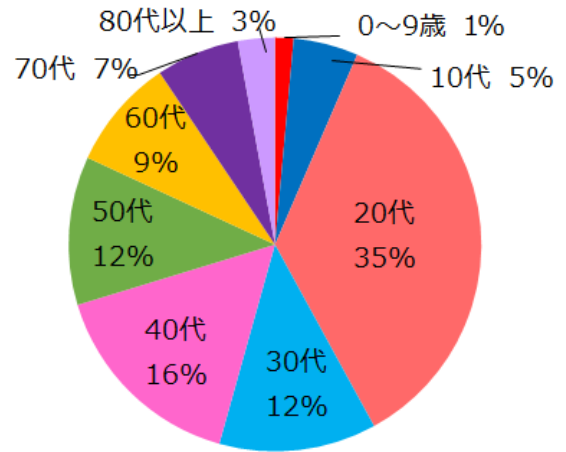
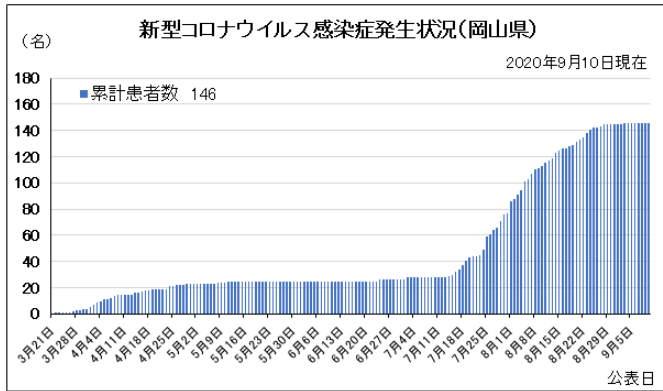


*人口は2015年国勢調査を使用

・岡山県(最新情報)

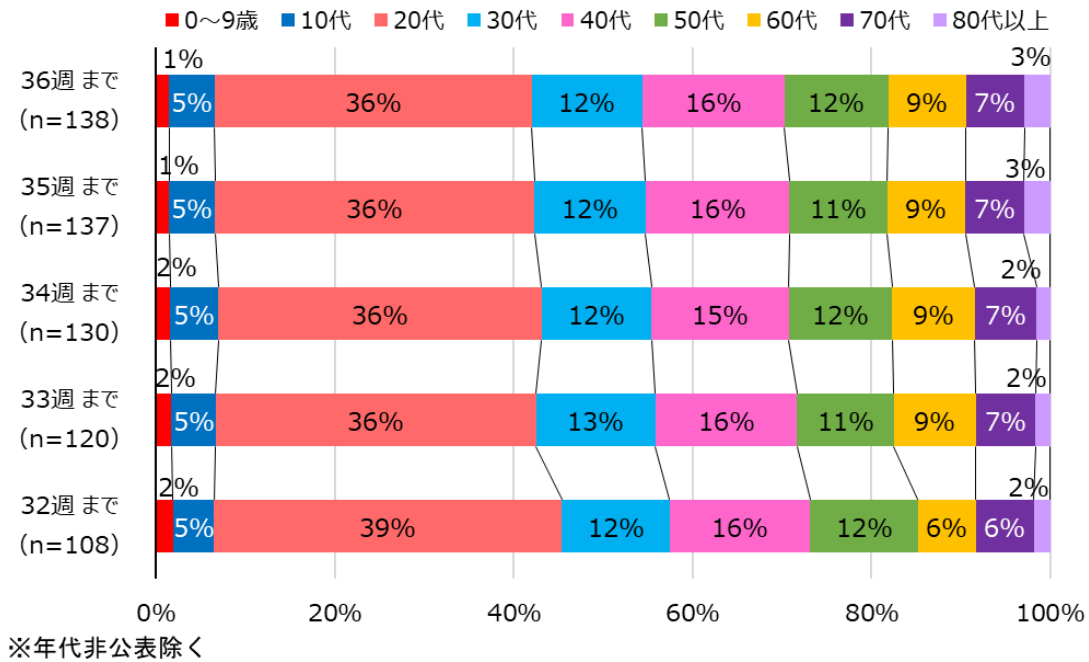
2020年9月10日現在まで、岡山県内では146名（男性81名、女性57名、性別非公表8名）の新型コロナウイルス感染症患者が発生しました。全国的にも、接待を伴う飲食店のほか、会食、学校教育施設、職場などにおけるクラスターが発生しており、更なる注意が必要な状況です。

岡山県の状況、感染予防の方法などの詳細は、[新型コロナウイルス感染症について（岡山県健康推進課ホームページ）](#)をご覧ください。



<参考> 35週(8月24日～8月30日)
36週(8月31日～9月6日)

岡山県、年齢階級別累計割合
(2020年9月10日まで)



岡山県、年齢階級別集計週毎累計

今週の注目感染症②

★ダニ媒介感染症

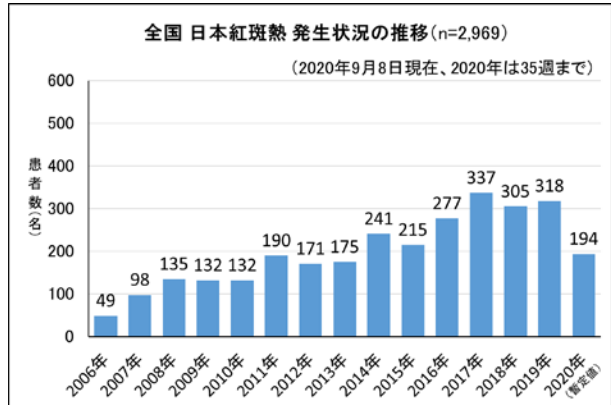
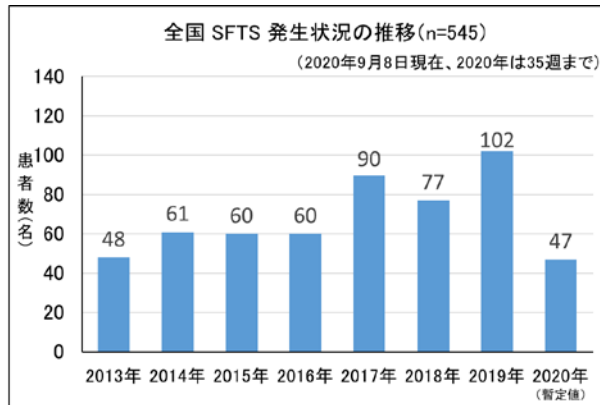
野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られています(マダニは、食品に発生する「コナダニ」や、衣類や寝具に発生する「ヒョウヒダニ」などの家庭内に生息するダニとは種類が違います)。これらのダニの中には、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**・**日本紅斑熱**・**つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものもいます。今年、岡山県ではSFTS、日本紅斑熱患者が多く報告されており、注意が必要です。

※診断・治療法・予防法など詳細は『[重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)](#)』に注意しましょう、『[日本紅斑熱](#)』に注意しましょう、『[つつが虫病](#)』に注意しましょう(すべて岡山県感染症情報センターホームページ)をご覧ください。

<SFTS および日本紅斑熱の全国および岡山県での発生状況について>

●全国

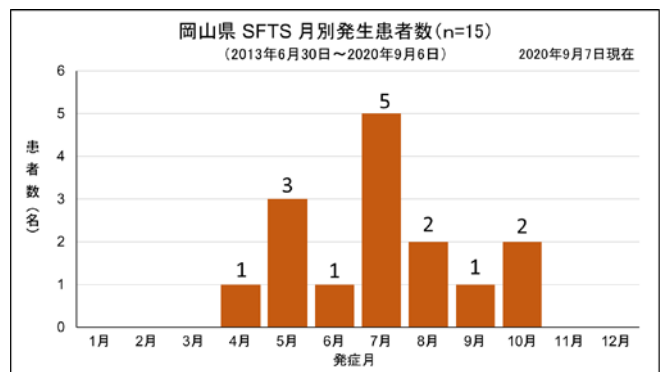
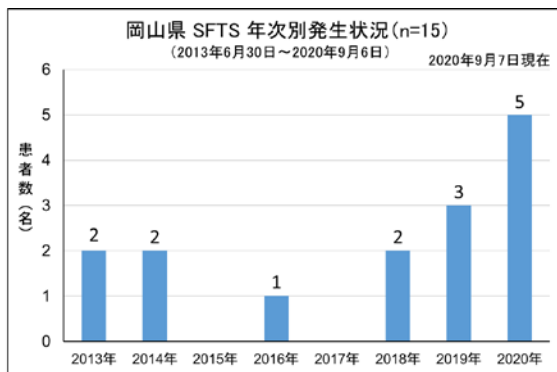
2019年までの推移をみると、発生動向調査開始以降、両感染症とも全体として増加傾向にあります。



●岡山県

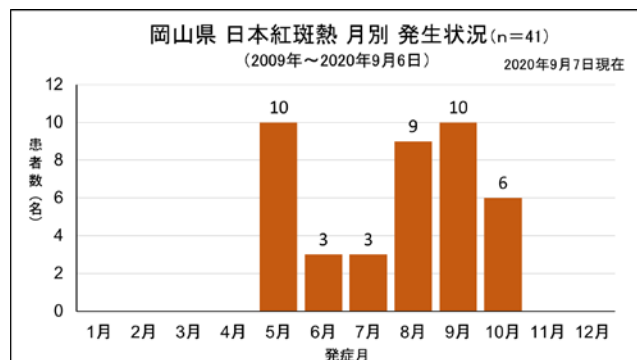
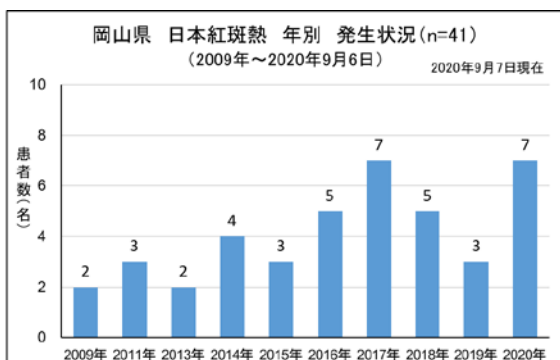
☆SFTS

今年、第36週までで、すでに**5名**が報告されており、初発例が報告された2013年以降で1年間の累計報告数が最多となっています。2013年からの月別発生状況では、7月をピークとし、春から秋にかけて患者が発生する傾向があります。



☆日本紅斑熱

今年、第36週までで、すでに**7名**が報告されており、初発例が報告された2009年以降で1年間の累計報告数が2017年と並び最多となっています。2009年からの月別発生状況では、5月と、8月から10月にかけて、患者数が増加する傾向があります。



9月24日～30日は『結核予防週間』です。

～ 長引く咳は結核かも ～

結核は過去の病気ではありません。日本では今でも年間 **14,000 人余り** の新しい患者が報告され、**約 2,000 人が命を落としている** 重大な感染症です。結核患者の多くが高齢者で、新たに結核患者として登録される方のうち **70 歳以上の方の割合が約 6 割** に上っていますが、近年の特徴として、若年層(特に 20 代)で外国生まれの患者の割合が増加傾向(7 割超)にあることが挙げられます。毎年 **9 月 24 日～30 日** は「**結核予防週間**」です。今一度、この機会に結核について理解を深めましょう。岡山県では、各保健所での啓発や相談など各種活動に取り組んでいます。

結核についてのご相談は、管轄の保健所へ → [岡山県保健所管轄区域案内（厚生労働省）](#)

たとえば、このようなことに心当たりはありませんか？



© 岡山県「ももっち・うらっち」

- ✓ 痰のからむ咳が **2 週間以上** 続いている。
- ✓ 微熱・身体のだるさが **2 週間以上** 続いている。



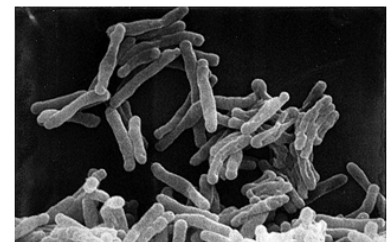
このような症状が続いたら、**結核**かもしれません。
早めに医療機関を受診し、**いつもの風邪と違うところ**を医師に伝えましょう。

注) 高齢者の方は典型的な症状が出ない場合もあります。定期的な健診が重要です。

[「結核 \(BCG ワクチン\)」](#) (厚生労働省)

【結核とは】

結核菌が体の中に入ることによって起こる感染症です。患者のくしゃみや咳の際に、体外に排出された結核菌が空気中に長時間漂い、それを周りの人が吸い込むことによって感染します(飛沫核感染: 空気感染の一種)。感染してもほとんどの場合は免疫で抑えられますが、吸い込んだ結核菌の量が多かったり、免疫が低下している場合は発病することがあります。多くの場合、肺結核として発症し、咳、痰、微熱が典型的な症状です。胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振などを伴うこともあります。初期には無症状のこともあります。肺以外のリンパ節、腎臓、骨、腸、脳など様々な臓器に病巣を作ることがあります。



結核菌の電子顕微鏡写真: 公益財団法人結核予防会結核研究所疫学情報センターホームページより

【結核の予防接種や検診を受けましょう】

乳幼児は抵抗力が弱く、結核菌に感染すると重症化しやすいため、予防接種を行うことが重要です。生後 1 歳までには、必ず BCG ワクチンを接種するようにしましょう。(予防接種については、お住まいの市町村にお問い合わせください。) また、結核の早期発見のため、職場や地域の健康診断を積極的に活用し、1 年に 1 回は検診を受けましょう。

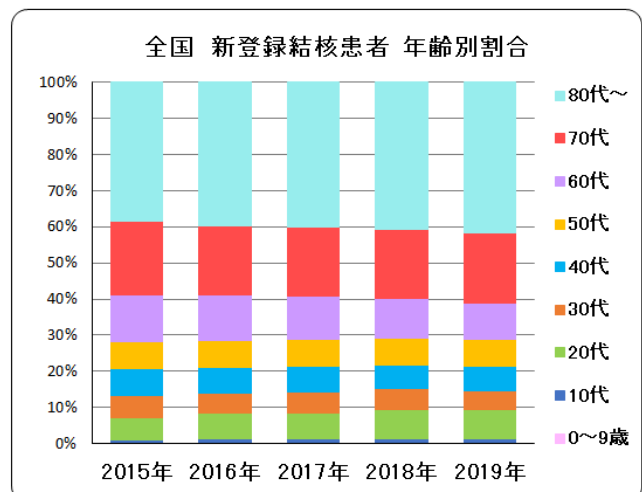
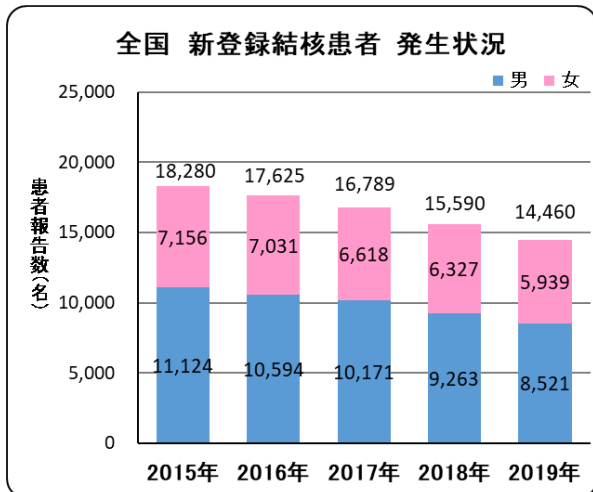
< 一般向け > [結核とは？ \(公益財団法人 結核予防会 結核研究所\)](#)

< 医療従事者向け > [結核医療相談・技術支援センターを開設しています！ \(岡山県 健康推進課\)](#)

結核について

【2019年の全国の結核発生状況】

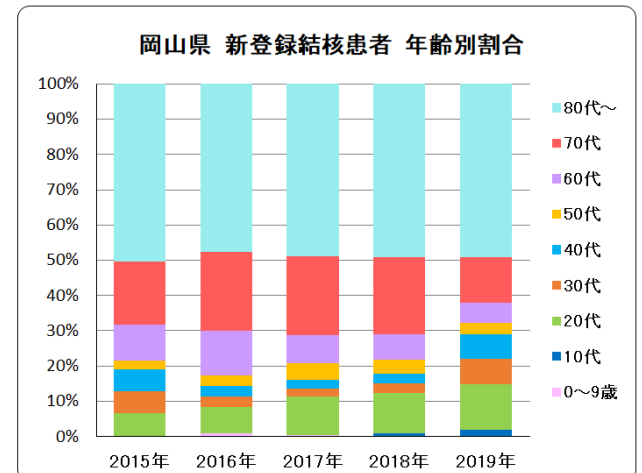
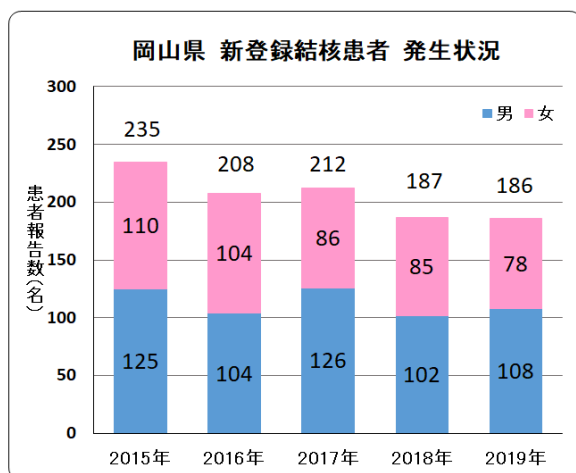
結核登録者情報調査年報によると、全国の新登録結核患者は14,460名で、2018年の15,590名とほぼ同数でした。年齢別では、70歳以上の新登録結核患者が全体の60%以上を占めており、患者が年々高齢化しています。日本は、2020年末までに結核り患率（人口10万あたり）10以下の結核低まん延国となることを目指していますが、2019年のり患率は11.5と、未だ中まん延国の状況です。都道府県別のり患率は、大阪府（18.4）が最も高く、次いで岐阜県（14.6）、兵庫県（14.0）の順となっています。



【岡山県の発生状況】

2020年第36週まで（～9/6）の岡山県の報告数は190名（患者115名、無症状病原体保有者75名）となっています。2019年に岡山県内で新たに登録された結核患者（新登録結核患者）は186名で、2018年の187名とほぼ同数となっています。年齢別では80歳以上が最も多くなっており、70歳以上の高齢者が新登録結核患者の62%を占めています。また、全国と同様に20～30代の比較的若年の患者も近年増加傾向を示しています。

岡山県のり患率は9.8と、2018年の9.9とほぼ同数でした。全国より若干低いですが、引き続き注意が必要な状況です。



【新型コロナウイルスによる感染症について】

全国では、6月中旬から感染が再拡大し、当初「接待を伴う飲食店」における若年層での感染の広がりが注目されましたが、現在では、感染者の報告は様々な業種にわたっています。
本疾患の予防には、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いの感染防止の3つの基本に留意し、日常生活では密閉空間・密集場所・密接場面の3条件(3つの密)の重なりを避けること、こまめな換気、咳エチケットの徹底が重要です。また、集団感染が起こりやすい場所への出入りは極力控えてください。

次のいずれかに該当する方は、新型コロナウイルス受診相談センターへ連絡してください。

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

（※）高齢者、糖尿病、心疾患、呼吸器疾患（COPD）などの基礎疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方（妊婦の方についても、念のため同様にお考えください。）

（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

<新型コロナウイルス受診相談センター連絡先(24時間対応)>

施設名	電話番号		FAX番号	所管の市町村
岡山市保健所	086-803-1360		086-803-1337	岡山市
倉敷市保健所	086-434-9819		086-434-9805	倉敷市
備前保健所	086-272-3934		086-271-0317	玉野市、瀬戸内市、吉備中央町
備前保健所東備支所	0869-92-5180		0869-92-0100	備前市、赤磐市、和気町
備中保健所	086-434-7072 注1	086-434-7024 注2	086-425-1941	総社市、早島町
備中保健所井笠支所	0865-69-1675	086-434-7072 (土日祝日の9時~17時のみ)	0865-63-5750	笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町
備北保健所	0866-21-2836		0866-22-8098	高梁市
備北保健所新見支所	0867-72-5691		0867-72-8537	新見市
真庭保健所	0867-44-2990		0867-44-2917	真庭市、新庄村
美作保健所	0868-23-0163		0868-23-6129	津山市、鏡野町、久米南町、美咲町
美作保健所勝英支所	0868-73-4054		0868-72-3731	美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村

※岡山市保健所及び倉敷市保健所は、平日の21時~9時および土日祝日の17時~9時は留守番電話につながりますので、応答メッセージに従ってください。

※備中保健所(井笠支所含む)および備北保健所(新見支所含む)は17時~9時は留守番電話につながりますので、応答メッセージに従ってください。

※FAXの受付時間は、平日9時~17時です。

注1 平日9時~17時

注2 注1以外



<関連リンク>

新型コロナウイルス感染症について（岡山県健康推進課）
新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

なお、新型コロナウイルスによる感染症について不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては下記の岡山県の相談窓口をご活用ください。

新型コロナウイルス感染症電話相談窓口（24時間対応）
電話：086-226-7877 FAX：086-225-7283

★予防接種を受けて、重い感染症にかかるリスクから子どもを守りましょう！★

現在、新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。子どもの予防接種を遅らせると、必要な免疫をつけることができなくなり、予防接種で防ぐことのできる重い感染症にかかる危険性が高まります。

特に生後2か月から受け始めることは、母親からもらった免疫が減っていくときに、乳児がかかりやすい百日咳、細菌性髄膜炎などの感染症から乳児を守るために、とても重要です。医療機関では、予防接種を行う時間や場所に配慮し、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。

子どもの予防接種は決して「不要不急」ではありません。まだ接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診（厚生労働省）](#)

[予防接種スケジュール（国立感染症研究所）](#)

[新型コロナウイルス感染症に関するQ&A（公益社団法人 日本小児科学会）](#)

風しんの抗体検査（無料）を受けましょう！

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群（CRS）※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます（岡山県健康推進課）](#)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、全国的に始まりました（2019年4月から2022年3月31日まで）。

市町村から対象者に、順次風しんクーポン券が送付されることとなっており、以下のリストに掲載されている医療機関で、無料で抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

岡山県の2019年4月～2020年6月の風しんのクーポン使用実績（抗体検査）は、13.2%と未だに低い状況です！

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう！

[風しんの追加的対策について（厚生労働省）](#)
[風疹に関する疫学情報（2020年）（国立感染症研究所）](#)



© 岡山県「ももっち」

保健所別報告患者数 2020年 36週(定点把握)

(2020/08/31～2020/09/06)

2020年9月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	12	0.22	11	0.79	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	6	0.43	-	-	-	-	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
感染性胃腸炎	146	2.70	79	5.64	13	1.18	26	2.60	4	0.57	13	3.25	-	-	11	1.83
水痘	2	0.04	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	28	0.52	5	0.36	9	0.82	3	0.30	9	1.29	1	0.25	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	19	0.35	6	0.43	4	0.36	2	0.20	5	0.71	1	0.25	-	-	1	0.17
ヘルパンギーナ	66	1.22	23	1.64	26	2.36	3	0.30	8	1.14	5	1.25	1	0.50	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.06	-	-	2	0.18	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	1	0.20	3	0.75	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2020年 36週(発生レベル設定疾患)

(2020/08/31~2020/09/06)

2020年9月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	6	0.43	-	-	-	-	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
感染性胃腸炎	146	2.70	79	5.64	13	1.18	26	2.60	4	0.57	13	3.25	-	-	11	1.83
水痘	2	0.04	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	28	0.52	5	0.36	9	0.82	3	0.30	9	1.29	1	0.25	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	66	1.22	23	1.64	26	2.36	3	0.30	8	1.14	5	1.25	1	0.50	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.06	-	-	2	0.18	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	1	0.20	3	0.75	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2020年 第36週 2020/08/31～2020/09/06)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	12	-	3	5	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	8	-	1	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	-	1	
感染性胃腸炎	146	2	18	26	10	9	7	9	5	6	9	5	16	8	16
水痘	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
手足口病	28	1	1	13	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	19	-	5	10	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	66	-	8	24	18	5	2	5	2	2	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

2020年 36週

分類	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019	疾病名	2020		2019
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	7	190	304	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	新型コロナウイルス感染症(指定感染症)	1	146	-	中東呼吸器症候群	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	4	腸管出血性大腸菌感染症	5	60	61
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	1	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	1
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	1	5	3
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	3
	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	7	3
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	1	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	1	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	62	57
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	14	14	ウイルス性肝炎	-	8	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	18
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	1	2	急性脳炎	-	6	19	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	5	6	後天性免疫不全症候群	-	10	10
ジアルジア症		-	-	-	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	4	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	11	45	水痘(入院例に限る。)	-	3	9	先天性風しん症候群	-	-	-
梅毒		2	115	190	播種性クリプトコックス症	-	2	1	破傷風	-	3	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	百日咳	-	84	428
風しん		-	1	3	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

